

ン・コントロールはありえないのです。これが田母神論文の問題で前提的な論点でありながらほとんどメディアでは取り上げられなかったことです。文民統制の文民とは、当然ながら文民ではない人間の集団を予想しているのです。

すなわち軍人、軍隊を前提にした概念なのです。ところが日本の自衛官は軍人ではない、自衛隊は軍隊ではない、これが政府の公式な立場であります。すなわち自衛官の皆さんも文民なのですよ。日本は文民しかいない国なのです。だったら誰が誰をコントロールするのだ、という話なのです。

だから田母神論文は文民統制違反だ、といている人はその瞬間に自衛隊は軍隊だといっているのと同じなのです。本人は気がついていないだけで、実は。田母神さんも喜んだと思いますね。「ああ～俺もやっと定年になって軍人扱いされたか」と(笑い)。ですから軍人、軍隊とは認めない日本の法体系にあって文民統制は成り立たないのです。これが原理的な問題です。

軍人・軍隊を装って縛りを入れる二重基準

軍人、軍隊ではないと言っておきながら、現実的にはさも軍人、軍隊であるかのように装って様々な縛りをいれている。典型的なダブルスタンダードなのであります。しかも国際標準というシビリアン・コントロールというのは、極端な言い方をすれば、戦争を始める、戦争を止めるという判断をするのが文民である、これが核心です。つまり有事の際の戦争の判断をするのが文民と言うことです。

それでは平時の時はどうか。それは軍の規模をどの程度にするか、そのための予算措置をどうするのか、それを決めるのが文民です。逆に、アメリカやヨーロッパでは、軍に対して見識を持っていない政治家に対して、そんなことでは国は守れないぞ、こうすべきだという発言を専門家の立場からじゃんじゃん言っている、またそれが責任でもあるのです。だから軍人上がりの人がどんどん政治家になっているのです。

軍人は政治に口出すなといっても、その政治の中には軍の領域があるわけですから、軍の指導者達は威信を持って政治家に発言する、というのは当然なのです。そのこととシビリアン・コントロールはなんら矛盾しない。国防をより確固たるものにする、という点で目的は同じだからです。



若葉がまぶしい季節になりました(東京ミッドタウンの庭園で)

田母神さんが野球に例えて、球団のフロントは金を出して良い選手をスカウトすること、あるいは環境の整った練習場を確保すること。フロントは「ここでピッチャーを代えろ」とか「ここはバントでいけ」などという指示は出さないとはいっていますね(笑い)。ところが日本は、そういうレベルにまで口を出し、自衛官を教育する学校の教師の人選にまでコントロールしようとしている、大変な間違いであります。これでは軍は戦えないというわけです。

軍は「いつ敵になるか判らない」存在か？

このシビリアン・コントロールの拡大解釈について、防衛大臣を務めた石破茂氏(現農水大臣)にいたっては、文民統制には二つの概念があるといっている。一つは軍による日本の安全をどう確保するか、もう一つは軍がクーデターを起こしたり、軍国主義を生み出したりしないようにコントロールする、と言っているのです。そんな意味は世界中にないですよ。

しかし、この石破氏の「軍による安全」と、二つめの「軍からの安全」という認識、これこそが戦後日本がいかに軍に対して異常な感覚を持っているかを示しているのです。即ち、軍は国民に対して「いつ敵になるか判らない」といっているようなものです。

世界は「軍が強くなれば安心、安全だ」といっている。日本は「軍が強くなると心配だ」といっている。戦争に巻き込まれるのではないか、平和が失われるのではないかと。しかも石破氏は憲法九条を改正して自衛隊を軍隊として位置づけなければいけない、という文脈の中で堂々とういうことを言っているのです。

このことは、いかに病が深いかということを感じ取らなければならないのです。世界ではあり得ない発想なのです。

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(6)

タグ: 日本国体学会 高森明勅 田母神航空幕僚長 文民統制 自衛隊 石破茂 憲法九条

コメント(6)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **花うさぎさん**

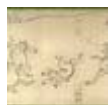
2009/04/01 02:41

・追記

3月5日に行われた統合幕僚学校の卒業式に行ってきました。非常に嬉しかったのは学校長が見事な挨拶された、卒業する生徒の皆さんもOBの皆さんも田母神さんの今回の行動を非常に高く評価しているという事実です。

特に航空自衛隊の皆さんは田母神さんのことを自分のことのように誇らしく語ってくれて、私は本当に嬉しかったです。(高森明勅氏)。

・形の上では解任ですが、大丈夫、航空自衛隊の士気はダウンしてないと言うことのようにです(^ ^)。



Commented by **風来坊さん**

2009/04/01 10:15

「軍事オタク」と尊称(?)されるオヒトが「軍からの安全」ですか??

自衛隊を軍隊たらしめるのは何を措いても国民が自衛隊を支持し、敬意をはらうことです。敬意をはらうべき対象を「いつ敵になるかわからない」と蔑むのでは話がアベコベです。



Commented by **花うさぎさん**

2009/04/01 13:43

To 風来坊さん こんにちは。

>「軍事オタク」と尊称(?)されるオヒトが「軍からの安全」ですか??

この石破氏に対しては渡部昇一氏も怒ってましたが、よくこんなのが防衛大臣でしたね?。

>敬意をはらうべき対象を「いつ敵になるかわからない」と蔑むのでは話がアベコベです。

本当ですよ。高森氏も世界中でそんな認識の国はないと強調していました。



Commented by **花うさぎさん**

2009/04/01 18:30

・イベントガイド

平成21年度 新しい憲法を制定する推進大会

とき 平成21年5月1日(金) 16時開会

ところ 永田町 憲政記念館講堂

参加費 無料

第一部 記念講演「世界と共に生きる日本」曾野綾子

第二部 大会 開会の辞、国歌斉唱、会長挨拶(中曽根康弘元総理)、各党代表挨拶、来賓挨拶(麻生太郎総理)、各種団体紹介及び挨拶

主催 新憲法制定議員同盟

問合せ先 TEL 03-5510-5533 FAX03-5510-5570



Commented by **しゃちょうさん**
日本の法律に軍法が無いのです。

2009/04/01 20:43

>と謂う事は、軍隊が無いと謂う事になると思いますが？

しかし、海外にまで自衛隊が派遣される様になった以上、自衛官の士気を高め、規律を守り、人権を守る為には、軍と位置付け軍法で統率しなければなりません。

ご都合主義の左には理解出来ないでしょうけれど！



Commented by **花うさぎさん**
To しゃちょうさん こんばんは。

2009/04/01 22:09

>と謂う事は、軍隊が無いと謂う事になると思いますが？

結局、実質は軍隊なのにその場限りの変な解釈で乗り切ってきた付けが出ているのですね。

>自衛官の士気を高め、規律を守り、人権を守る為には、軍と位置付け軍法で統率しなければなりません。

もちろんです。国民もその意義を理解して彼らを支持信頼し、敬意を表すべきです。

>ご都合主義の左には理解出来ないでしょうけれど！

何とか早く綺麗に「掃除」したいです(^^)。